(一社)岩手県山岳・スポーツクライミング協会
第 223 号
令和 5 年 12 月 1 日発行
https:// iwatesankyo.or.jp/

山協ニュース

ＪＡ共済連岩手
スポーツクライミング 2023 ボルダー＆スピード大会開催
2023. 10. 27～10. 28

令和 5 年 10 月27日(土)から 28 日(日)、岩手県営運動公園スポーツクライミング競技場において、JA共済連岩手 スポーツクライミング 2023ボルダー＆スピード大会が開催されました。今回の大会は JA 共済連岩手様に協賛していただきました。看板の設置のほかに、会場にのぼりの掲出、横断幕が設置されました。また、各カテゴリーの優勝者には冠協賛名入りの優勝盾、入賞者には副賞いわちくセットが提供されました。そして、参加賞としてスポーツドリンクとキューブ銀河のしずく(450g)も提供していただきました。参加者は協会関係役員 7 名、審判･ビレイヤー･選手管理で11 名、参加選手はボルダー66名スピード13 名でした。

また、JA 共済連岩手様には今年度本協会の協賛企業にもなっていただきました。

入賞者は以下のとおりです。

ジュニア 男子
1位 佐々木心太朗
2位 本堂遥介
3位 大志田悠生
ジュニア 女子
1位 勘田 鈴夏
2位 髙橋 百那
3位 佐々木 和花

ビギナー 高校生以下

男子 1位 松本 耕太郎　　2位 田村 航

女子

1位 佐々木 百花

2位 阿部 真咲

3位 中村 茉莉那

ミドル 高校生以下

男子

1位 鈴木 響太朗

2位 中村 奏太

3位 山口 由翔

女子

1位 沼沢 凛

2位 及川 陽

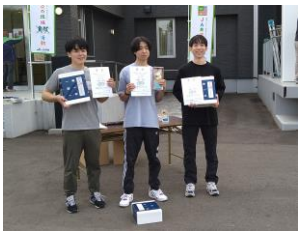
3位 小原 楓花

ミドル 一般 男子

1位 齋藤 滉亮

2位 高島 将大

3位 中林 亮介



マスター 高校生以下 女子

1位 中村 暖　2位 稲葉 美悠3位 髙橋 咲來

マスター 一般 男子

1位 坂本 新之助

2位 浅沼 健太

3位 本明 智尚

オープン 高校生以下 男子

1位 倉本 心温 2位 平瀬 太誠 3位 本明 佳

オープン 一般 男子

1位 中島 大智 2位 菊地 一平

スピード 高校生以下 男子

1位 上柿 銀大

2位 倉本 心温

3位 斉藤 佑俊

スピード 高校生以下 女子

1位 川村 鞠采

2位 稲葉 美悠

3位 髙橋 咲來

各種研修会報告

R5JMSCA 夏山リーダー検定報告

指導部夏山リーダー担当　韮澤　優

令和5年度夏山リーダー検定は、9 月 9、10 日に岩手山青少年交流の家と滝沢市平蔵沢の石ケ森で行われた。

日本山岳スポーツクライミング協会（以下「JMSCA」）が遭難防止対策として主導している「夏山リーダー制度」は、一定の山行経験のある登山者に登山技術を習得していただき「夏山リーダー」と称する自立した登山者を育成しようという主旨のもと各都道府県で開催されている事業で、岩手県では令和4年度に講習参加を募ったところ、4名が受講し、検定会開催にあたり、受検資格のある3名から申し込みがあった。

検定は筆記試験と実技試験からなり、1日目は岩手山青少年交流の家において、午前中はコンパスと地形図の使い方を屋外で復習し、研修室に移動して筆記試験対策として登山知識について夏山リーダーテキストの疑問点などを講師に質問して解説を受けた。昼食を挟んで午後に1時間の筆記試験に臨み、その後翌日の実技試験に向けてセルフレスキューとファーストエイドの反復練習を行った。18時に夕食を青少年の家で済ませた後、交流会を行い翌日に備えて就寝した。

2日目は、滝沢市内の石ケ森で、受検者3名1組パーティのリーダー役を交代しながら実技試験を受けた。朝9時に入山した受検者が、検定講師から出された読図やファーストエイドなどの実技課題を攻略しながら下山した時間は14時を過ぎた。

受検者からは「テストを受けるのはウン十年ぶりで緊張した。」という声も聞かれたが、夏山リーダーテキストを十分に読み込み、それぞれの登山経験に裏打ちされた実力を十分に発揮することができたと感じた。

後日、受検者は JMSCA 理事会の審議を通過し、見事岩手県初の夏山リーダー資格を取得した。次の3名が令和5年度夏山リーダー資格取得者である。

都南山岳会　及川　哲也

日本山岳会岩手支部　熊谷　加奈子

滝沢市山岳協会　千葉　裕太

今年は全国的に山岳遭難件数が増加しており、連日のようにテレビや新聞で報じられている。岩手県も例外ではない。夏山リーダー講習は道迷い遭難対策として読図とナビゲーションに重点的に講習するが、岩手県開催の特色と言えるのは、山での緊急時対策として覚えておきたい応急手当の実技と知識を専門の講師から手厚い説明を受けて習得できることだ。是非とも来年夏山リーダー養成講習を受講し、その内容を確認していただきたい。

令和5年度岩登り講習会兼指導員研修会報告

（報告：土井祐之）

開 催 日：令和5年8月6日（日）

開催場所：展勝地陣ケ丘の岩場（北上市）

参加者：コーチ5名、検定1名会員19名、一般3名、計28名

昨年度まで8月上旬に沢登り講習会兼指導員研修会を開催し、下旬に岩登り講習会兼指導員研修会を行っていたが、沢登りを行うためには、岩登りの技術を先に学んだほうが良いのではないかという考えのもと、今年度は開催を逆にした。

今年度の岩登り講習会では、ロープワーク、道具の使い方、支点構築等の岩登りの基礎から、メンバーによってはマルチピッチの技術や自己脱出等の技術等習得を行った。

参加者の学習意欲が大変高く、指導にも熱が入った。

令和５年度沢登り講習会兼指導員研修報告

報告者:土井祐之指導部長

開 催 日:令和５年8月27日(日)

開催場所:大空滝沢(花巻市)

参 加 者:コーチ6名、検定1名、会員27名

今年度の沢登り講習会兼指導員研修会は大空滝沢(花巻市)を会場に実施した。7:20 開講式を行い4班編成で行動を開始した。11:00 大空滝登攀開始。11:30 落石事故発生。事故発生を確認し、講習会兼研修会を中止し、負傷者の救助体制に切り替えることを全員に周知した。

負傷者は2名。1名は落石が頭部に当たりヘルメットが破損し頭部から出血した。近くにいた中島指導部副部長(国際山岳医)がけがの処置を行い、韮澤指導部員が滝の中部から負傷者を振り分け補助を行いながら懸垂下降で滝の基部まで降ろした。もう1名は右腕に落石が当たり打撲。近くにいた受講者がテーピング等で処置した。

前者のけがが頭部であるあることからヘリコプターによる救助を要請することにし、滝上部に抜けていた6名が林道に抜け、携帯電話が通じるところまで走るようお願いした。

13:45 ヘリが到着。14:05 ヘリが負傷者をピックアップし現場を去った。15:35 駐車場にて閉校式。

今回の事故については指導部内において、また、11 月1日(水)の県山協理事会において検証し、次の課題が挙げられた。

(1)講習会兼指導員研修会開催の場所について、開催場所として適当か、危険な個所はないか等、事前に十分に偵察を行い判断すること。

(2)講習会兼研修会において安全対策をしっかり図ること。落石等が発生した際にフォールラインでビレーや待機にならないなど事故を想定し対策をとること。

(3)講習会兼指導員研修会開催最中に危険な状況等をしっかり周知する体制を構築すること。(トランシーバーの数を増やすなど。)

(4)沢登り講習会等、携帯電話の電波の届かないところでの開催の際には衛星電話などの使用も検討すること。

(5)指導部内、指導員(コーチ)のセルフレスキュー、ファーストエイド等のスキルを高め緊急時に対応できること。

(6)参加者の山岳遭難保険加入状況をしっかり確認すること。また、各講習会等の開催の際には総括保険の加入を行うこと。

(7)理事会等で要項を検討する際に、以上の課題について確認を行うこと。

以上の課題についてしっかり取り組み、今後の講習会兼研修会が安全に開催できるよう準備していきたい。

『ジュニア登山教室 in 岩手山 2023』報告書

登山普及部 川口 卓也

・開催日:2023 年 8/4(金)～5(土)

・参加者:小学生４名、中学生１名、保護者５名、
スタッフ7名 計 17名

・スタッフ:佐藤誠、渡辺良平、乙部沙季子、太田麻希子、
太野千枝子、千葉裕太、川口卓也

・協力 :石井スポーツ盛岡店 海馬

・コースタイム

(8/4 晴れ時々くもり) 7:40 開講式～7:50 登山開始～14:10 岩手山山頂着～15:30 八合目避難小屋着～17:00 夕食開始～20:00 消灯

(8/5 晴れ時々くもり) 4:30 起床～6:00 朝食～7:30 小屋発～12:15 下山～閉講式

新型感染症による開催見送りがあり、4 年ぶりの開催となった。直前に一家族が新型感染症疑いでキャンセルとなった。

特に班は分けずに、先頭を佐藤がひっぱり間にスタッフが入る形とした。五合目で大休止をとり昼食。下界は猛暑の夏だったが、ちょうど良く日も陰り涼しい風が吹く中で昼食をとる。ほぼ計画通りに八合目避難小屋に到着。ガスがわく時もあったが風もそれほど強くなく、時折青空ものぞくなか山頂へ。全員無事登頂を果たし、そのままお鉢巡りをして小屋へ戻る。夕食後は各自自由時間。参加児童がみな集まって交流しているのが印象的だった。

2 日目の朝は小屋前からご来光を拝み、朝食後に清掃。下山に時間がかかることが想定されたため予定より早く下山とした。児童 1 名が遅れ始めたが、乙部・太田の 2 人で手厚くサポート。盛岡では 36℃を越える猛暑日で暑かったが、馬返し登山口東屋で渡辺が先行下山して用意したアイスクリームを食べクールダウン。閉講式を行い石井スポーツ盛岡店海馬さんから参加者に記念品を贈呈いただき解散となった。

今回の開催は 4 年ぶりの開催であったことや、私自身が初めての参加で準備段階から手探りとなった。

また、募集開始が遅れたことや『盛岡さんさ踊り』と開催がかぶってしまった為参加者が想定より増えなかったが、参加児童並びに保護者は全員今回が初めての岩手山ということで、全員ケガも無く無事登頂を果たせてよかった。
様々反省点があるが、この経験を次年度以降の改善につなげていきたい。

日本の名峰登山2023年
創立 80 周年記念登山

目的の山域・山名　木曽駒ヶ岳・御嶽山
山 行 期 間　令和 5 年 8 月 31 日 ～ 令和 5 年 9 月 3 日(4 日間)
8 月 31 日(木) 1 日目 晴れ (スーパームーン)
19:10 スーパームーンの見送りを受け、参加者 12 名を乗せ滝沢市総合公園出発。
19:25 盛岡駅西口で 12 名が合流し、その後に北上・江釣子 IC で 3 名合流し総参加者 27 名での日本の名峰2023登山隊となった。
20:34 全員がバスに乗り、開会行事。
天気予報も晴れと 4 日間安定している模様であり、良い山行が期待される。
21:30～22:00 の間に消灯となり、バスは一路中央アルプスへと向かうことになる。

いつものことではあるが、ほぼ眠れない状況での初日の山である。時々意識が飛んでいる時があるので、その時幾らかでも眠っているものと思われる。
21:07 金成 PA　修理のため仮設トイレ
21:31 長者ヶ原 SA
23:27 安達太良 SA。 01:29 出流原(いずるはら)PA
9 月 1 日(金) 2日目 曇り→晴れ(登山行動中は晴れる)
01:46 太田強戸(OTA-GODO)PA 上り・下り両用の SA で、初めてみる形の施設である。
03:10 佐久平 PA 04:01 姥捨 SA
05:53 コンビニ(セブンイレブン)　曇り空、青空が少し見える
駒ヶ根市の菅の台バスセンターで路線バス(伊那バス)に乗換へしらび平駅へ。
しらび平駅から中央アルプス駒ヶ岳ロープウェイに乗り 10 分ほどで千畳敷駅へ。
千畳敷駅を出ると展望が開け、青空にまだらに雲が浮かんでいる。目の前に宝剣岳(2931m)がそびえたち、千畳敷カールやこれから登る登山ルートが見えていた。登山ルートはカールの中央へは展望台から少し下がりトラバースするようにカールの中央付近までなだらかな登りが続いている。乗越浄土手前の山の端までの上部半分ほどは、傾斜がきついためかジグザグの登りとなっている。
千畳敷駅舎の展望台の南側からは富士山が顔(？)をいや、頭を出していた。
ここからの登山行動は各班(1～3 班)ごとの行動になる。各班のリーダーの判断で 1 班から順番に行動する。今回は特に班ごとに距離を取っての行動のため、ポイント(標識や山頂など)ごとの通過・到着時間に若干の幅があるので了解願いたい。また、時間には若干の主観が入っているので、そのことも了解願いたい。
いよいよ木曽駒ヶ岳を目指して出発である。展望台(千畳敷駅)から登山道の入口にある「信州駒ヶ岳神社」に登山の無事を祈って出発。天気も良く最高のスタートである。
カールの中央の登りに変わる所に「登山道・遊歩道」の標識があり、そばのナナカマドには赤い実が付いている。直登する形で登り、その後傾斜がきつくなりジグザグの道を登る。坂を登った所は、乗越浄土という場所で、標識は上から「乗越浄土」次に右方向に「伊那前岳・北御所」下の左方向に「宝剣岳・中岳・駒ヶ岳」と表示の、分岐になっていた。突然ヘリコプター(JA503G)が現れ、すぐ去って行った。ピックアップする装置がついていないヘリなので、事故での出動ではないと感じた。
進行方行に宝剣山荘と天狗荘が見えている。宝剣山荘で

トイレ休憩とし、山荘の横をとおって中岳への登りとなる。中岳(2925m)山頂も360度のロケーションとなる。真下に見える宝剣岳(2931m)は稜線状にあるコブという感じに見える。明日登る御嶽山が西側に綺麗に見える。頂上山荘まで下り、そこから登り返して木曽駒ヶ岳の山頂となる。

10:12～　木曽駒ヶ岳(2956m)山頂着　山頂の神社横で休憩及び昼食となる。天気も良く暖かい。山頂では班ごとに、そして全員での記念写真を撮る。

10:58～　木曽駒ヶ岳山頂発　下山は中岳のまき道を通った。まき道の手前で花の色が赤い「コマクサ(駒草)」を見かけた。初めてみるコマクサの花の色である。まき道は中岳山頂より下をまくので、登るときより楽な感じであった。宝剣山荘ではソフトクリームを売っており、下山で気分的に楽なせいか買って食べた人もいた。乗越浄土まで来たのに、宝剣山荘まで戻ってソフトクリームを食べてきた方もいた。

乗越浄土からの下山は、登る時にカールの中央の登りに変わる所の「登山道・遊歩道」の標識があった所から、そのまま遊歩道側にカールを下がり千畳敷駅より低い所まで下り、そこから登り返して千畳敷駅に着くという登りとは別ルートで帰った。

木曾駒ヶ岳山頂

12:35～48　千畳敷駅着　13:00　千畳敷駅発　数人が定員オーバーのためゴンドラに乗れず取り残される。次の便は30分後かとがっかりしていたら臨時便を出してくれ、10分後に臨時便に乗り出発することができた。少ない人数のため一番前に行きゆったりと景色を堪能することができた。　13:18しらび平駅の外で先発隊と合流する。13:22　人数が多いせいかしらび平駅でも伊那バスの臨時便を出してくれ、菅の台バスセンターへ行くことができた。

13:27　菅の台バスセンターに着いても、予定より早かったためか貸切バス着いていなかった。貸切バスを待ちながらの大休憩となる。

14:30頃　貸切バス到着　到着したバスは岩手から来る時のバスと変わっていた。昨夜、東北道を走っている時からバスの調子が悪く会社と連絡を取っていたようであるが、盛岡から交代のバスをよこしたようである。乗車し、一路宿泊場所の「おんたけ休暇村」へ

16:50　「おんたけ休暇村」着　「おんたけ休暇村」は名古屋市の施設で正式名称は「名古屋市民御岳休暇村」で宿泊場所は、「セントラル・ロッジ」といい標高1450mであった。

「セントラル・ロッジ」には天文館があるようである。キャンプ場には「メインホール・管理棟」があり、近くには「おんたけ高原温泉『こもれびの湯』」や「グループ・キャビン」、「身障者キャビン」、「ファミリー・キャビン」、「テントゾーン」、「炭焼き体験施設」、「展望台」、遊歩道には名前が付けられ途中に「あずま屋」が8施設あり、「トイレ」など広大な休暇村全体が健康施設のようになっている。早く着いたので、風呂(温泉)に入って汗を流す方もいた。

18:00　夕食　懇親会

9月2日(土)　第3日目　晴れ

06:00　おんたけ休暇村を御嶽山田ノ原登山口に向けて出発。バスが登山口に向かって登って行く途中に雲海が見えた。バスの中からでも立派な雲海が楽しめた。

06:25　御嶽山田ノ原登山口到着　途中の道には自動車が路上駐車していた。また、登山口の所にはバス用の駐車スペースに普通車を停めており、登山者のマナーの悪さを知ることになった。「長野県立御嶽山ビジターセンター『やまテラス王滝』」のトイレで用足しをし登山口の御嶽山神社の鳥居で記念撮影をしたあと06:50班ごと出発した。

今年は噴火以来9年ぶりに期間を限定して王滝山頂から八丁だるみを通って頂上までいけるようになった。一般登山者は7月末から10月11日まで規制緩和期間が登山口に掲示された。

登山道の途中には、「田の原大黒天」や「御嶽山大黒天御嶽神社・遥拝所社務所」があり、「大江権現」のその上には「あかっぱげ」と石柱に彫ってある道標もあった。「あかっぱげ」とは何であるか、なぜそのような地名であるか分からない。植物が生えていないで土だけの場所なので火山の影響で草木が生えない場所のように思われた。

08:09　八合目石室　8合目避難小屋を通過。08:31　富士見石　富士見とあるが、ここからは富士山は見えず、富士山が見えたのはもう少し上に登ってからであった。少し上の所でホシガラスが飛んできてハイ松の実を食べていた。

09:14　中央不動通過　09:35～58　王滝頂上　退避舎　王滝山頂山荘　到着。班ごとに写真を撮り小休止とする。王滝頂上には神社があり、班ごとの写真は、神社の所か丁度御嶽山頂上(剣が峰)がしっかり見える所があったので頂上をバッ

クに撮った。
10:00　八丁たるみ　の標識の場所に来た。9 年前の大噴火で 63 名が犠牲(犠牲者 58 名、行方不明者 5 名)になるが、未発見者の 5 名はこの「八丁たるみ」あたりの火山灰に埋まっているかもしれないと思い、八丁たるみの標識の前で、手を合わせ犠牲者にお祈りをした。
10:04　二ノ池トラバース分岐、10:12　緊急避難所大岩下シェルター
10:28 剣が峰階段下の「御嶽山噴火災害慰霊碑(銘文)」の所で手を合わせお祈りをする。お祈り後、横の最後の階段を登る。

御嶽山噴火災害　慰霊碑

10:30～43　剣が峰(御嶽山)頂上 3067m着　御岳神社奥社
1 班から 3 班まで次々に登って来る。山頂の標識のある場所は狭いので、班ごとの写真はやめ全体写真のみとする。今日も昨日と同じに良い天気で良かった。　富士山も 2 日続けて見ることができた。

御嶽山(剣ヶ峰)山頂

10:43～45　剣が峰(御嶽山)頂上下山　階段下の「御嶽山噴火災害慰霊碑」の所でお経をあげている参加者がいた。親族でお経をあげる方がいるので自然に覚えてしまったと隣の方に話していた。11:01　黒沢口十字路通過
11:03～20　　休憩昼食　剣ヶ峰へ 465m、王滝頂上へ 886m、二の池へ 700m
1 班から交代々々に休憩し昼食を取る。11:15～覚明堂。11:20～9 合目の標識。
11:23～石室山荘。11:40～黒岩の所で休憩している 1 班に追い付く。2･3 班はかなり遅くなっているので 1 班と行動を供にする。一時、御嶽山山頂(剣が峰)が見えていたが、雲がわき見えなくなってしまった。やはり山の天気は午前中だと思った。
12:17 金剛堂通過。
12:34 女人堂(8 合目)早く着いた参加者はラムネを飲んでいる人があった。休憩後に出発する。12:26「7 合目･ロープウェイ」と「登山道分岐」標識。
13:27　御嶽山七合目　関山明行場跡覚明社通過。13:29　黒沢口(7 合目)行場山荘。
13:38～14:07 飯森高原山頂駅(御岳ロープウェイ)建物の外で 2･3 班の到着を待つ。
暖かく気持ちが良い。2･3 班が一緒に下りて来たのでロープウェイ乗り場へと移動。
4:10～15　　御岳ロープウェイ乗車。6 人乗りのゴンドラで、次々にゴンドラに乗り下りてゆく。最後のゴンドラに乗ったため 3 人でゆったり景色を眺めながら下りていく。遠く穂高方面の山並みを見ることができた。
14:12～27　鹿の瀬駅(山麓駅)　ロビーの一角には登山情報(御嶽山の情報、山小屋の情報、登山計画書など)があり、御嶽山の情報を知ることができるようになっていた。御嶽山のジオラマも置いてあった。駐車場には貸切バスが待っていたのでバスへと向った。
落ち着いてから、お土産を買いに来る方もあった。
14:50　鹿の瀬駅(山麓駅)出発。御岳ブルーラインを通って木曽福島の今日の宿泊場所に向かう。15:42　宿泊場所である木曽三河屋に到着。
18:30　夕食は部屋毎に1テーブルで、それぞれが事前に注文した希望の食事を取るという形であった。
　9月3日(日)　4日目　晴れ
07:30　木曽三河屋を出発。08:30　諏訪湖 SA 着　諏訪湖をバックに皆で記念写真を撮り、買物をした。08:45　諏訪湖 SA 発　一路、諏訪大社(上社本宮)に向けての出発となる。
09:20　諏訪大社(上社本宮)着　駐車場から参道を通り諏訪大社(上社本宮)へ、大鳥居をくぐり正面の石段の所で全体写真を撮る。そして横に立っていた「御柱(おんばしら)」の前でも全体写真を撮った。その後は個々に諏訪大社を見学した。

諏訪大社(上社本宮)

09:57　諏訪大社(上社本宮)発
10:05　あんず(お肉の工場直売所)着　トイレ休憩とお土産購入を兼ねて店に立ち寄る。
10:20　あんず(お肉の工場直売所)発　ここからは一路岩手へ帰ることになる。佐久南ICから中部横断道にのり、上信越道、北関東道、東北道と参加者のトイレとドライバーの休憩を兼ね、SAやPAに寄りながら岩手へと走った。2名岩手に帰らないで他のツアー登山に参加する方等を除いた 25 名全員が元気に岩手に帰ることになった。
帰路の途中に参加者から今回の山行の感想と、来年度の山行計画の参考のため、行きたい山の希望を取った。感想については、天気も良かったためか、概ね良好の感想であった。山の希望については、「伯耆大山」とか「白山」の山名が出ていた。
19:29　北上・江釣子IC着。3名下車。20:25　盛岡駅西口10名下車。
20:45　滝沢市総合公園 11 名下車で無事全員元気に岩手に帰ることができた。空を見上げると、出かける時よりだいぶ欠けた「スーパームーン」が迎えてくれるような気がした。

大会報告

令和5年度　岩手県高等学校新人登山大会

9月29日(金)～10月1日(日)　黒倉山(網張コース)
男子学校対抗
1位　盛岡第一　97.9 点　　2位　岩手　95.8 点　　3位　水沢　93.4 点
女子学校対抗
1位　盛岡第一　99.0 点　　2位　水沢　84.7 点

第 13 回岩手県高校生クライミング大会 兼第 14 回全国高等学校選抜クライミング選手権大会岩手県予選

10月29日(日)　県営運動公園
男子リード
1位　本明　佳(水沢)　2位　廣田　一航(黒沢尻北)　3位　平瀬　大誠(水沢)
女子リード
1位　中村　暖(盛岡南)　2位　佐藤　凛歩(盛岡第一)　3位　川村　鞠采(盛岡第一)
男子ビギナー
1位　篠村　紅羽(盛岡南)　2位　田村　航(盛岡南)
男子団体学校枠に本明佳・平瀬大誠(水沢)、個人戦に廣田一誠(黒沢尻北)が出場権獲得
女子団体学校枠に佐藤凛歩・川村鞠采(盛岡第一)、個人戦に中村暖(盛岡南)が出場権獲得

鹿児島国体結果

10 月　日から　　日まで、鹿児島県南さつま市で行われた国民体育大会の結果は、以下のとおりです。
成年男子　リード　27 位　　ボルダー　20 位
少年男子　リード　10 位　　ボルダー　14 位
少年女子　リード　14 位　　ボルダー　16 位
畠山SC部長は「2年連続入賞には届かなかった、上位に入るには全国で一桁に入る選手の育成が必要で、今回、本明佳のボルダーで個人 4 位になっており、生かしていきたい。また、来年度の佐賀は国民スポーツ大会となり、成年女子が全県出場となる、ふたば選手と連携を図り成績に結び付けたい。」

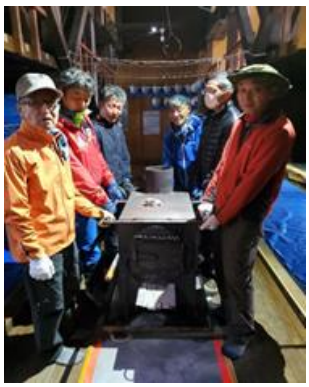
来年度から名称が国民スポーツ大会と変更となり、種別の出場枠も今までの成年男子の全県出場がなくなり、ブロック別に全県出場枠が交代となります。来年度の東北ブロックの枠は成年男子(2)成年女子(6)少年男子(2)少年女子(3)となります。

2023年 岩手山八合目避難小屋冬期切替

10月14日(土)～15日(日)に岩手山八合目避難小屋を夏期小屋から冬期小屋に切替作業を参加者25名で行いました。又、岩手山地区パークボランティアの方々と合同で、九合目不動平避難小屋の切替作業も実施いたしました。

トイレは小屋正面と小屋裏側入口から

冬季切替をしてくれたスタッフ



14 日天候は晴天、毛布を干したり八合目避難小屋と手摺の塗装を行い、翌日はストーブの撤去作業と御成清水の給水停止・室内の清掃・毛布の整理を実施。

室内入口(段差があるので注意)

御成清水（冬季停止）

別棟のトイレは使用出来ませんので室内を使用して下さい。尚、室内で休憩をする場合、靴を脱いで休憩するようにお願いします

冬季水場（赤目印）

冬期水場は、水道パイプが凍結しない場合、赤目印の下から給水可能です。
アイゼン等忘れずに、自分に合った冬登山を計画しましょう。ご安全にii

国体募金　御礼

鹿児島国体と上柿君の世界選手権に向け、今年度も国体募金を実施してまいりましたが多くの方々から沢山の募金をいただきました。募金総額は 11 団体、21 名で 282,000 円集まりました。本当にありがとうございました。

個人 21 名　遠藤政一　遠藤敏英　及川憲一　小野寺修　熊谷浩志　佐藤誠　佐藤安美　佐藤幸久　澤田精一　十二林良治　杉山健太郎　鈴木主計　高橋時夫　武田勝栄　角掛喜美夫　出堀宏明　中島隆之　中道政春　盛合敏男　吉田春彦　吉田良弘

11 団体、岩手アルペンローズ　巌鷲山岳会　玉山会　JR 東日本山岳会　花巻市山岳協会　福岡山好会　盛岡市山岳協会　盛岡山想会　矢巾町山岳協会　矢巾山好会　登山普及部　　（敬称略）

JMSCA クライミング体験キャンプ in いわて盛岡 supported by 日新火災

昨年 8 月 31 日に県内のスポーツクライミングの普及・振興を図るため、岩手県、盛岡市及び公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会の三者間での締結された連結協定に基づき、今年度も、岩手県営運動公園スポーツクライミング場で、11 月 18 日（土）、午前と午後に分けて、 県内在住のスポーツクライミング未経験小学生（3 年生以上～）30 名ずつ、ボルダリング体験講習会を実施されました。

ゲストには原田海選手、楢崎明智選手、中村真緒選手に来ていただき、一緒に指導を受けな

がら体験セッションが行われました。

また、会場には、障害がある作家のアート作品を扱うヘラルボニーの高さ 5mの懸垂幕が彩られました。

日山協スポーツクライミング部ブロック別研修会（東北ブロック）並びに東北ブロック会議

2023 年度ＪＭＳＣＡスポーツクライミング部 ブロック別研修会が令和 5 年 11 月 25 日(土) 午後、26 日(日)午前・午後、秋田市の「協働大町ビル」で行われました。26 日は午後 1 時からの開会式の後、総合研修と C 級審判員認定研修に分かれ、総合研修では技術委員会専門委員畑中渉氏から審判更新研修、西原斗司男国体委員長から国体運営・競技運営研修とアンチ・ドーピング研修を受け、C 級審判員認定研修は技術委員会技術委員長山本和幸氏より翌日の 26 日（日）まで研修を受けました。また、26 日（日）8 時より東北ブロック会議があり、今年度の東北総体について岩手の小野寺専務理事より説明があり、実施要項について審議されました。

スマホで登山届

１１月１６日、登山者情報システム（コンパス）を運営する山岳安全対策ネットワーク協議会と岩手県警は連携協定を結びました。遭難等が発生した場合、位置情報を的確に把握し早期救助につなげるのを目的としています。

尚、山岳安全対策ネットワーク協議会は、国内の山岳 4 団体（公益社団法人日本山岳会、公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会、日本勤労者山岳連盟、公益社団法人日本山岳ガイド協会）、およびシステム開発を担当するインフカム株式会社によって構成されています。

インドア研修会開催

令和5年度　指導員(コーチ)インドア研修会が下記の通り実施されます。

期日　　令和 6年 1月 ２７日　土曜日
会場　　「乙部地区公民館」　盛岡市乙部 6-79-1
日程　13：30～14：00　受　付
　　14：00～14：05　開会行事
　　14：05～15：40　机上研修
　　講話　「南極探検 500 日」
　　講師　菊池健生 氏　岩手日報社記者
　　15：40～15:45　閉会・諸連絡

理事会報告

第５回定時理事会報告

日時　令和 5 年 11 月 1 日（水）19 時～21 時 00 分
場所　盛岡市　岩手県体育協会会議室
出席者　吉田会長、大木、武田、畠山の各副会長、小野寺、山口、土井、中島、遠藤、工藤、十二林、畠澤の各理事、佐々木、小国監事　16 名中　14 名

出席

欠席者　　中村、長谷川理事

１協議事項

(1) 第４回定時理事会議事録の承認について

小野寺総務部長より説明があり全会一致で承認された。

(2) 業務執行報告の承認

会長より一部説明があり、他は小野寺総務部長より説明、全会一致で承認された。

(3)スポーツクライミング 2023 ボルダー＆スピード大会の協賛について

協賛については急ぎのこともあり、メールで説明し承認されたが、小野寺総務部長より再度説明があり承認された。JA 共済連岩手が協賛企業になった。

(4)岩手県体育協会栄光賞（令和５年度前期）候補者上柿銀大　IFSC アジアコンチネンタルユースカップ（S）シンガポール 2023　男子スピードユースA　第２位

小野寺総務部長より説明があり、全会一致で承認された。

(5)加盟団体事務局長会議　あり方及び名誉会員顧問懇談会　開催有無について

加盟団体の会議は、資料は総会と同じではないかと昨年指摘があり、名誉会員顧問懇談会の開催の有無と合わせて、再度部長会で協議することとした。

(6)初冬期講習会兼指導員研修会及び冬山講習会兼指導員研修会について

土井指導部長より既に承認されていることだが近くになってきたことあり再度説明があり、全会一致で承認された。

(7)来年度 SC コーチ２養成講習会について

土井指導部長より、説明があった。前向きに検討していくことで、全会一致で承認された。

2　報告事項

(1)　事務局

小野寺総務部長より下記について説明があった。

・国体募金について　282000 円

・JMSCA クライミング体験キャンプ in いわて盛岡 supported by 日新火災

・東北ブロック会議　11/25～26　秋田市

参加者　会長、専務理事

(2)　指導部

土井指導部長より下記について別紙の通り説明があった。

・岩登り講習会　　・沢登り講習会

・夏山リーダー認定　及川哲也（都南山岳会）千葉裕太（滝沢市山岳協会）熊谷加奈子（日本山岳会岩手支部）

・コーチの育成　AC コーチ１　AC コーチ２　SC コーチ１

・コンパス、山岳安全ネットワーク協議会と岩手県警の協定調印

山形県は２月から、秋田県は今後進めていくことで説明が会長よりあった。

(3)　登山普及部

山口登山普及部長より下記内容について別紙説明、報告があった。

・岩手山避難小屋管理　八合目避難小屋利用状況

・箱ヶ森登山道整備業務委託

・ジュニア登山教室 in 岩手山

・日本の名峰登山　木曽駒ヶ岳・御嶽山

・安全登山指導者研修会【東部地区】３名参加

(4)　競技運営部

JA 共済連岩手　ボルダー＆スピード大会結果について、遠藤競技運営部長より説明があった。

(5)　スポーツクライミング部

畠山ＳＣ部長より下記について別紙説明、報告があった。

・鹿児島国体

・スピードクライミングタレント選出トライアウト（5 期生）

・スーパーキッズ選考結果

(6)　高体連

新人登山大会と 高校生クライミング大会について、畠澤高体連委員長より報告があった。

3　経過報告と予定　　7 月 31 日理事会以降

・7.31　　第４回理事会

・8.2　　網張温泉登山リフト安全祈願祭

・8.4～5　ジュニア登山　　岩手山

・8.6　岩登り講習会研修会　　北上展勝地

・8.7～11 全国高等学校登山大会

北海道　旭岳他

・8.11　山の日・岩手山八合目臨時診療所開設

・8.27　沢登講習研修会　　大空滝沢

・8.31～9.3　日本の名峰登山 2023

御嶽山・木曽駒ケ岳
・9.2　夏山リーダー養成講習会検定会（前期）
・9.2～3　沿岸部ボルダリング体験会　中止
・9.9～10　夏山リーダー養成講習会検定会（後期）
・9.9～10・13　親子クライミング体験教室
運動公園
・9.23～24　岩手山八合目臨時診療所開設
・9.23～24　高体連中期講習会
・9.29～10.1　岩手県高等学校新人登山大会
・10.7～10 特別国民体育大会 鹿児島県南さつま市
・10.14～15　岩手山八合目避難小屋冬期切替
・10.15　岩手山八合目避難小屋常駐終了
・10.15　SC コーチ養成講習会　福島
・10.17　日新火災体験会ロケハン打ち合わせ
運動公園
・10.21～22　安全登山指導者研修会　福島
・10.28～29　JA 共済連岩手　スポーツクライミング 2023 ボルダー＆スピード大会
運動公園
・10.29　岩手県高校生クライミング選手権大会
運動公園
・11.1　第５回理事会
・11.11　スピードトライアウト
・11.12　スーパーキッズ体験会
・11.16　コンパス岩手県警協定締結式
・11.17　岩手県知事・盛岡市長表敬訪問
・11.18　JMSCA クライミング体験キャンプ in いわて盛岡 supported by 日新火災
運動公園
・11.19　北上山岳会創立 70 周年記念式典　北上
・11.25～26　東北地区ブロック会議　秋田県
・11.26　日山協臨時総会　東京
・12.9～10　初冬期講習会研修会　三ッ石山
・12.23　全国高校選抜クライミング大会
埼玉・加須
・1.27　指導員インドア研修会
・2.3～4　冬山講習研修会　源太ヶ岳
・2.16～18　全日本登山大会千葉大会
・3.12　第６回理事会

JA 共済連岩手 協賛企業に

（株）岩手広告社を通し、JA 共済連岩手が本協会の協賛企業になりました。

10 月に実施された「JA 共済連岩手スポーツクライミング 2023 ボルダー＆スピード大会では、協賛金の他に協賛名入りの看板の設置、のぼりの提出、入賞者賞品・副賞の提供、また参加賞の提供をしていただきました。

審判・セッター更新研修

今年度の審判・セッター更新研修は、２月１８日を予定しています。場所は県体協会議室です。対象の方は必ず受けてください。

日山協山岳共済に入ろう

多くの山岳保険がありますが、日山協山岳共済会保険は、 登山コースのほかに、ハイキングコー ス、クライミングコース、トレランコースがあります。日常生活でのケガも対象になります。万一に備えて の加入をお奨めします。WEB からの申し込みもできます。詳しくは本協ホームページ 下記の画像をクリック。